

JIS A 6021適合品

公共建築工事標準仕様書Y-1適合
JASS8 L-GU適合

防水

Vol.7

地下防水

スプレイジョンS

改質(ゴム)アスファルト系塗膜防水材

環境品質



E-TEC

株式会社 イーテック

地下防水の決定版はこれだ!

スプレイジョンS

= 信頼性 × 実績

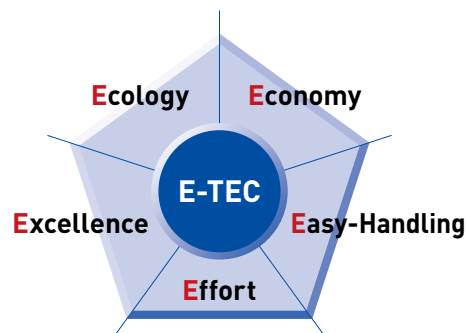
・ JISA6021適合
・ ISOによる徹底した
品質管理

・ 公的仕様
Y-1 JASS8
実績豊富

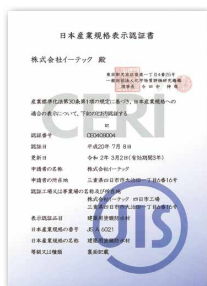
高品質であり続ける、E-TECの商品設計コンセプト。

商品設計理念「5つのE」

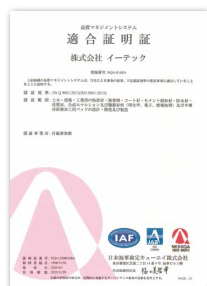
私たちは「高い技術力と柔軟な発想」「頼もしい行動力と自在の応用力」といった強くしなやかな企業力で、より豊かな人間環境の基礎固めに取り組んでいます。特に商品設計では、Ecology(環境に優しく)、Easy-Handling(作業性の良い)、Economy(価値のある)、Excellence(優れた品質の)、Effort(社会に貢献する)という5つのEを理念とし、高性能、使いやすさ、社会・環境への配慮を満たす新製品を開発しています。私たちは挑戦を続けます。



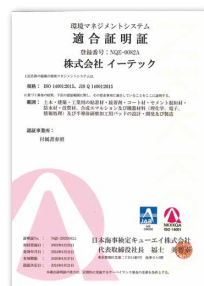
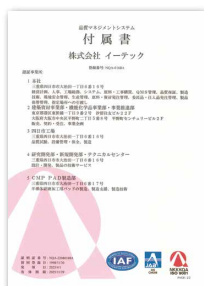
「JIS、ISO」を取得し、確かな信頼を得ています。



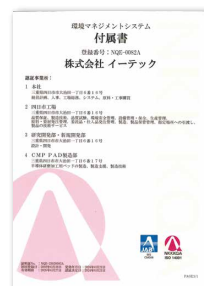
日本産業規格表示認証書



ISO9001適合証明証・付属書



ISO14001適合証明証・付属書



- ・ 日本産業規格表示認証 / [認証番号: CEO408004、表示認証品目: 建築用塗膜防水材、日本産業規格の番号 JIS A 6021]
- ・ ISO9001・ISO14001認証取得企業 /
- [ISO 9001:2015, JIS Q 9001:2015] No.NQA-22080168A 株式会社イーテック
- [ISO 14001:2015, JIS Q 14001:2015] No.NQE-23020082A 株式会社イーテック 四日市工場
- ※ISO14001にはイーテックのキーワードである「環境保全」に関する規格がふくまれています。

特徴
Feature

1 公的仕様

スプレイジョンSは、JIS A6021に適合しており、建築工事標準仕様(Y仕様)JASS8 (L-GU)として確かな信頼性があります。

2 施工システム

小型ポンプの為、移動が簡単で手塗りとの併用も可能です。また、後やり防水・先やり防水のどちらにも施工を行えます。

3 安全性

臭気が殆ど無く、また、現場における煙やCO₂の排出もありませんので、作業環境・周辺環境の保全を可能とします。

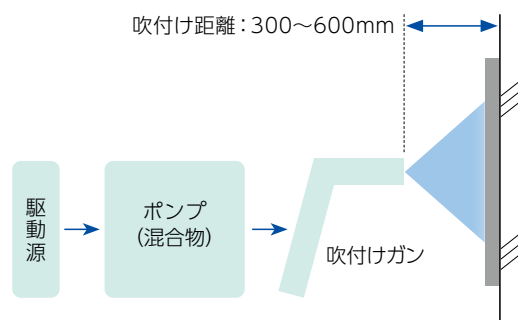
4 品質

ゴムアスファルト系塗膜の特長である柔軟な防水層を形成します。

スプレイジョンS工法の仕組み

■ポンプ仕様

内 容	能 力
最高使用圧力	22.7MPa
重量	55kg
駆動源	電気 100V、20A
通常使用圧力	15~18MPa
最大吐出量*	1.5~2.0kg/分



※混合物を吹き付ける場合(23℃)。

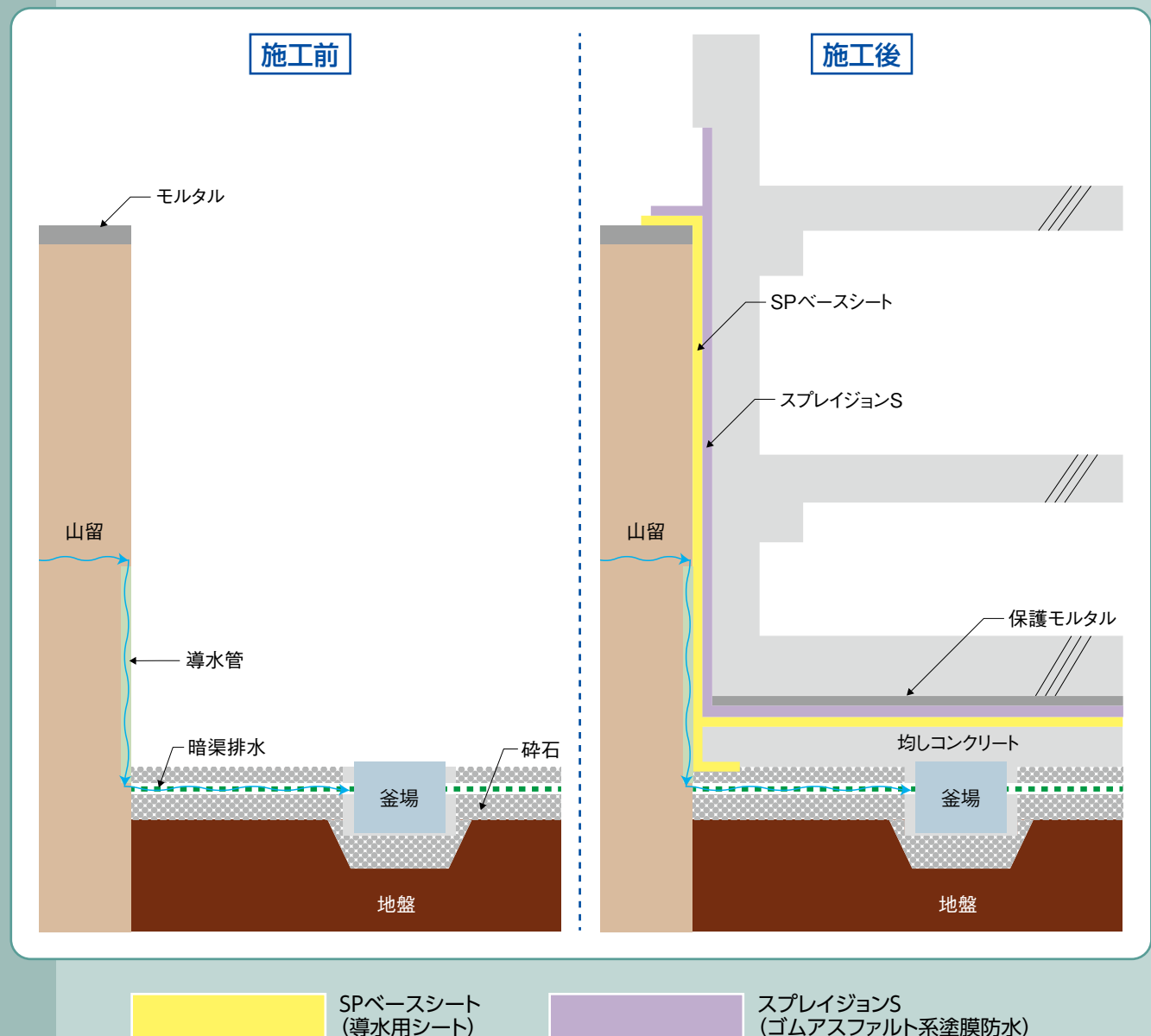
※スプレイジョンS工法は、カップガンによる吹き付け施工やコテ等による手塗り施工も可能です。

※電圧及び電流が不安定な場合、安定した吹付けが出来ない場合があります。

地下防水の全体図

先やり工法は山留に対して防水層を施工し、その後地下躯体コンクリートを構築する工法です。山留面に施工するため、敷地境界線際まで地下躯体を構築する場合に使用されます。

先やり工法の全体図

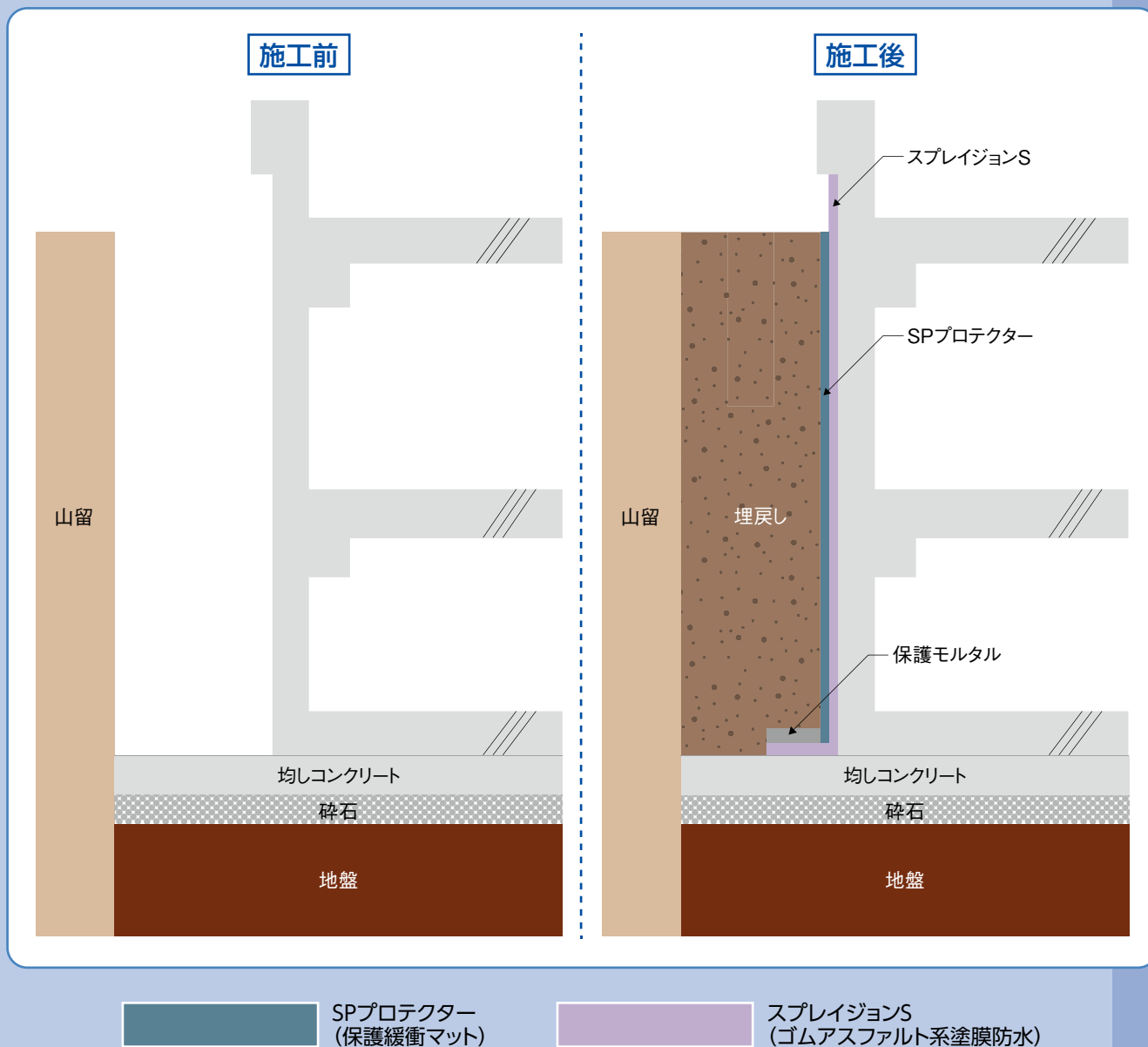


スプレイジョンS 先やり防水の特徴

- ・継ぎ目のないシームレスな防水層を形成します。
- ・様々な種類の土留面 (SMW、横矢板、シートパイル、既存躯体など) に防水が可能です。
- ・導水シートを施工することで多少の凹凸でも対応可能です。
- ・セパレーター廻りもスプレイジョンSで施工可能なため、同一材料でシームレスな防水層が形成できます。
- ・現場状況に応じて、吹付け施工、手塗り施工が選択可能です。
- ・粘度調整することで厚付け (5.2kg/m³) 可能です。
- ・工程が少ないため、工期の短縮が図られます。

後やり工法は地下躯体を構築後、躯体に直接防水層を施工する工法です。
後やり工法は躯体に直接施工するため、躯体の下地や仕上り状況を確認しながら施工できます。

後やり工法の全体図

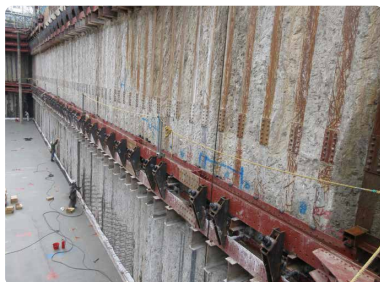


スプレイジョンS 後やり防水の特徴

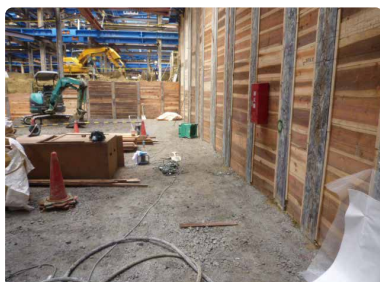
- ・継ぎ目のないシームレスな防水層を形成します。
- ・躯体コンクリートに直接防水層を施工するため、躯体下地の不備が確認出来、その補修も可能です。
- ・塗膜防水のため、複雑な形状にも施工可能です。
- ・現場状況に応じて、吹付け施工、手塗り施工が選択可能です。
- ・SPプロテクターを施工することで埋戻しの際に防水層を保護することが出来ます。
- ・SPS-A40は公共建築工事標準仕様書Y-1や建築工事標準仕様・同解説(JASS8)L-GUIに適合します。
- ・粘度調整することで厚付け(5.2kg/m²)可能です。
- ・工程が少ないため、工期の短縮が図られます。

先やり防水の注意点／納まり図例

山留面



SMW

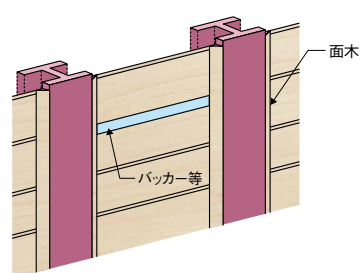
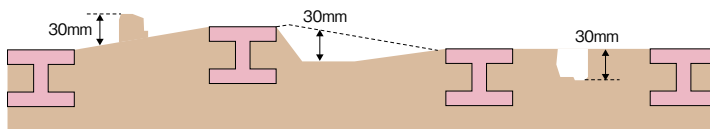


親杭横矢板

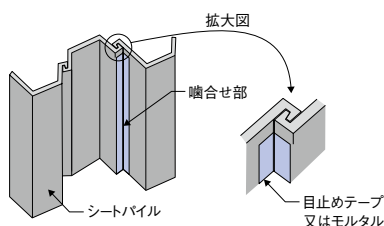


シートパイル

- ・SMWの凹凸は、段差30mm以下としてください。
- ・SMW面の極端な凹凸はケレン、充填などで平滑にしてください。

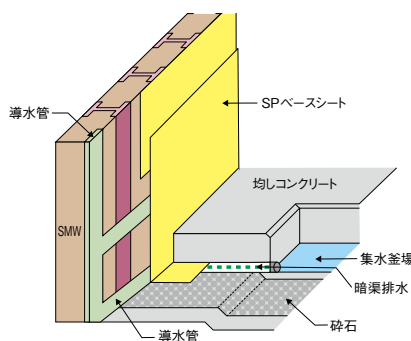


- ・横矢板間に空隙がある場合、バッカー等で空隙を埋めてください。
- ・H鋼と横矢板の取り付け部分は栈木で固定して平滑にしてください。



- ・シートパイルは繋ぎ部分をモルタルやテープなどで処理してください。
- ・施工条件によってはシートパイルの凹部を鉄板やコンパネで平滑にする必要があります。

山留からの湧水



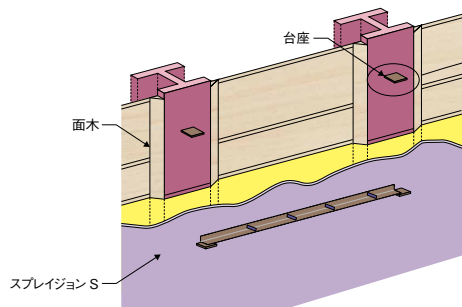
- ・山留から湧水がある場合、導水処理を実施してください。
- ・釜場に集めた水は水中ポンプで揚水してください。

下地にスタッドが設置されている場合



- ・スタッドが設置されていても施工可能ですが、スタッド部の納まりについては必ず防水施工業者と協議してください。
- ・さらに、スタッドが設置されている場合、大幅に施工手間がかかるため、通常の下地より工期及びコストが割増しとなります。

セパ受け用L型アングル



- ・L型アングルは台座のみ事前に取り付けてください。(L型アングルは防水施工後に取り付けます。)
- ・台座の向きは左記のように取り付けてください。
- ・横流しのL型アングル取り付けの際は防水材に火がつかないように養生してください。

ねじ込み式セパ受け金物



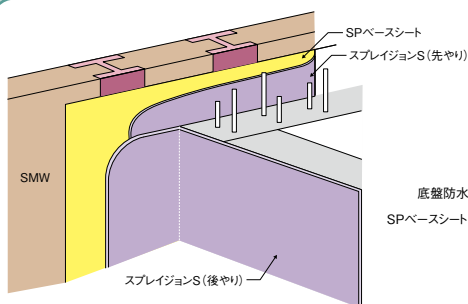
セパ受け金物取り付け用ビット



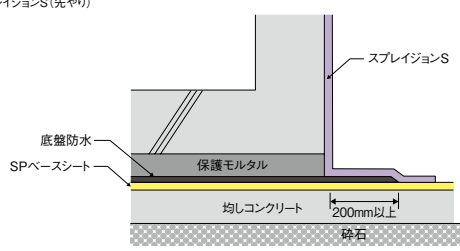
特殊大型止水リング

- ・セパレーター受け金物はねじ込み式のスクリュービット(株式会社北斗金属工業製)を推奨します。
- ・防水施工後、セパ受け金物周辺は増し塗りします。但し、セパ受け金物に特殊止水リングを使用する場合は増し塗りは不要となります。

底部又は壁面での先やり防水と後やり防水の取合い



【山留先やりと躯体後やりの取合い】

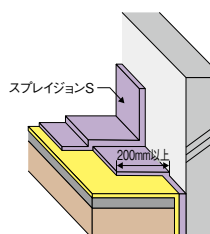


【底盤先やりと躯体後やりの取合い】

- ・後やり防水とのジョイント用に先やり防水を200mm以上伸ばし、ラップ代を確保してください。

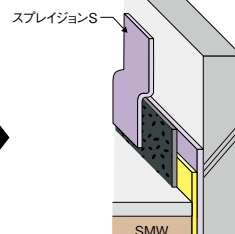
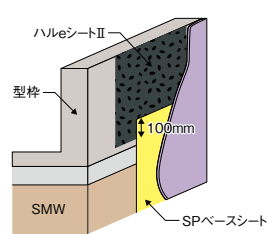
GL部での先やり防水と後やり防水の取合い

【平場でジョイント】



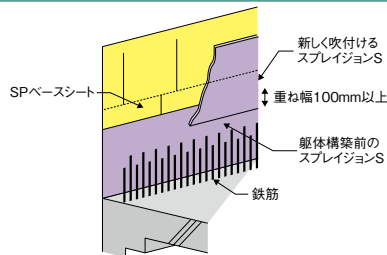
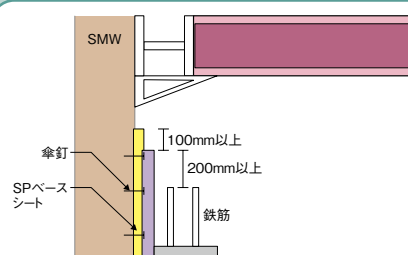
- ・平場で接続する時は天端にモルタル等で平滑にし、その上に防水層を折り返し、躯体構築後、防水をジョイントします。

【壁面でジョイント】



- ・壁面で接続する時はGL部で型枠を準備し、それにハルシートIIを張り付け、躯体構築後、防水をジョイントします。

腹起し周辺での取合い

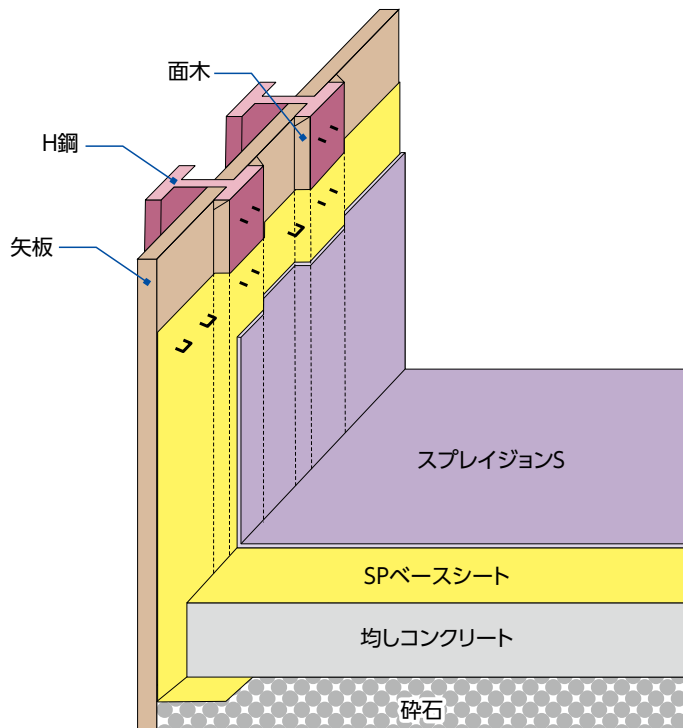


- ・腹起し周辺での防水層接続は、後からの防水とのジョイントを考慮して鉄筋より上部に出して、吹付けを終了してください。

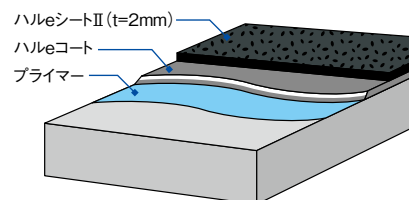
先やり防水

SPS-S40 / SPS-S20

外壁



ハルシート複合防水 E-20



底盤は砂付き仕上げのハルシート複合防水 E-20を施工することもできます。

※E-20工法については「ハルシート複合防水E-20カタログ」をご参照ください。

SPベースシート
(導水用シート)

スプレイジョンS
(ゴムアスファルト系塗膜防水)

▶ 標準仕様

(単位: kg/m²)

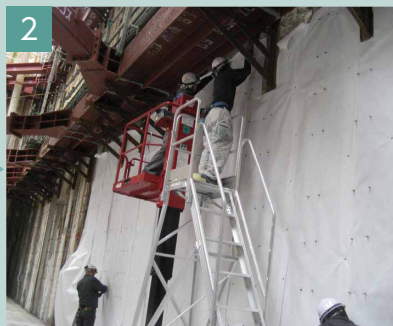
工 程	工 程 1	工 程 2
SPS-S40 (平均膜厚 4.2mm)	SPベースシート	スプレイジョンS 5.2
SPS-S20 (平均膜厚 2.1mm)	SPベースシート	スプレイジョンS 2.6

- ・湧水が激しい場合は導水処理を実施する。(P.7地下からの湧水参照)
- ・セパレーターはねじ込み式セパ受け金物(別途工事)を推奨いたします。
- ・SPベースシートは起毛面を山留側にして設置してください。
- ・SPベースシートのジョイントは、ジョイントテープ又は合成ゴム系接着剤で処理(接着)を行ってください。
- ・SPベースシートの重ねは100mm以上確保してください。
- ・SPベースシートが濡れた場合は乾燥させてから、スプレイジョンSを塗布してください。
- ・特殊下地の場合は別途お問い合わせください。
- ・やむを得ず2回に分けて施工する場合、当日中はノンプライマーで塗り重ねが施工可能ですが、翌日以降の時は層間プライマーを塗布してください。プライマーの選定はお問い合わせください。
- ・打設前に長期間が空く場合は事前にAEコートS配合を塗布するか、防水層がばく露されないようにブルーシート等で養生してください。



導水処理(別途工事)

山留から湧水がある場合は導水効果を高めるため、壁面には導水パネル、底部には割リグリ石や排水暗渠、導水パネルを設置するのが望ましい。



SPベースシート張り

下地との浮きが極力無いように下地に沿って傘くぎやタッカーなどで固定する。ジョイントは100mm以上確保し、ジョイントテープ等で口開きが無いように接着させる。



材料の攪拌

スプレイジョンSAを攪拌しながらスプレイジョンSBを添加し、約10秒間均一に攪拌。その後攪拌しながらスプレイジョンSZを添加し、約40秒間攪拌混合する。



スプレイジョンS吹付け

スプレイジョンSを均一に垂直方向に吹付ける。

ねじ込み式セパ受け金物
(別途工事)



スプレイジョンS吹付け完了

塗り残しが無いを確認する。



底盤部保護モルタル打設、配筋

●下地の確認

1. 親杭頂部の処理
2. SMW面の場合
3. 横矢板の場合
4. 下地の状態

親杭頂部には土留め面への雨水の流入を防止するため、側溝などが設けてあること。

SMW面の極端な凹凸は、ケレン・充填などで修正されていること。

SMWの凹凸は、段差30mm以下であること。

横矢板間に空隙がある場合、バッカー等で空隙を埋める。

H鋼と横矢板の取り合い部分は算木(斜めにカット)で段違いがなくしてあること。

L型アングルや配筋が防水施工前に設置されていない事。

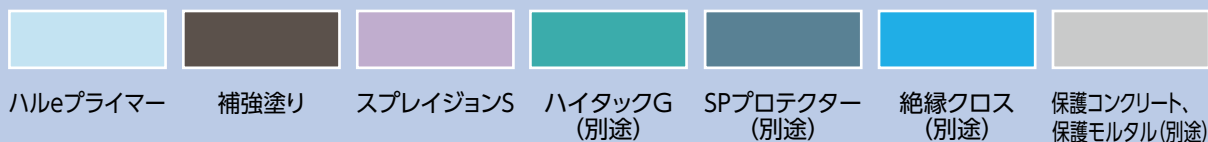
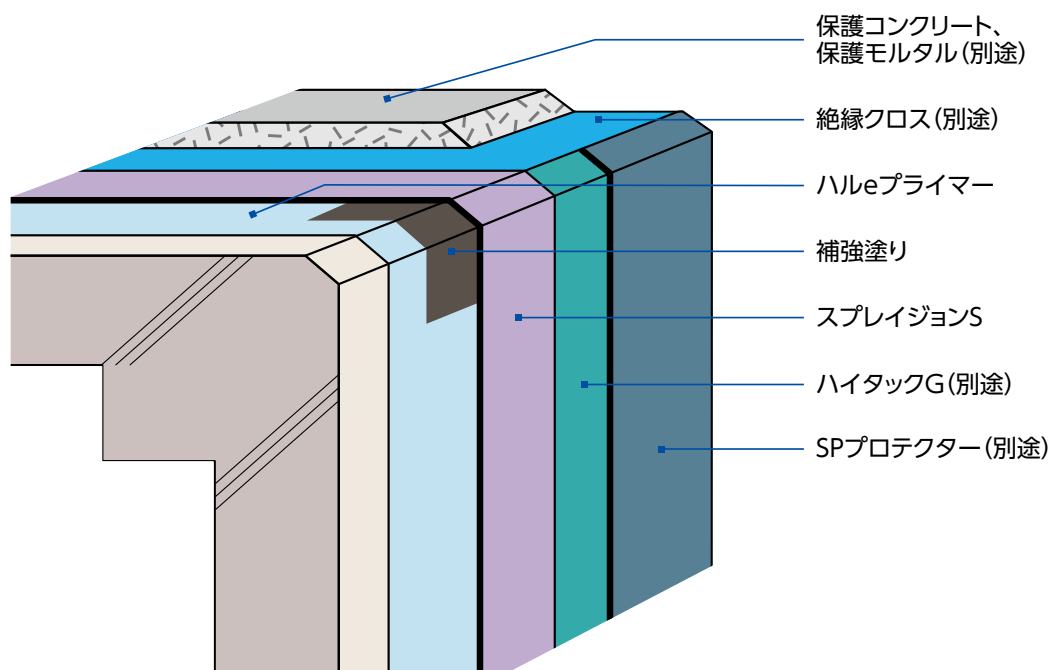
(防水施工前はアングル受け台座のみ設置して下さい。)

防水施工面に湧水がない事。

※防水工事終了後も躯体の打設終了までは、ディープウェル又は水中ポンプの稼動を停止しないで下さい。

後やり防水

SPS-A40(Y-1工法) / SPS-A20

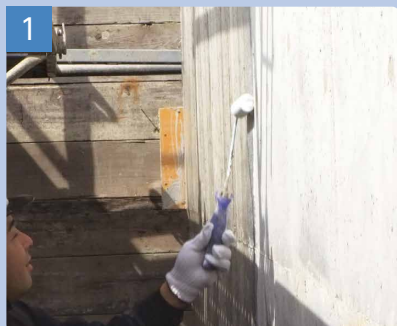


▶ 標準仕様

(単位: kg/m²)

工 程	下地処理(別途)	工程 1	工程 2	保護層(別途)
SPS-A40(Y-1適合) (平均膜厚 4.2mm)	樹脂モルタル	プライマー	スプレイジョンS	ハイタックG/ SPプロテクター
	0.5	0.2	5.2	0.2/1.0m ²
SPS-A20 (平均膜厚 2.1mm)	樹脂モルタル	プライマー	スプレイジョンS	ハイタックG/ SPプロテクター
	0.5	0.2	2.6	0.2/1.0m ²

- ・プライマーは下地の状況に応じて使い分け、当日施工を行う部分のみ塗布してください。(プライマー塗布後、降雨にあたった場合は再塗布してください。)
- ・コンクリート打継ぎ部及び著しいひび割れ箇所はU字型にはつり、シーリング材(ノンブリードのウレタン系)を充填した上、幅100mm以上の補強布(メンブロンクロス)を用い補強塗りを行ってください。
- ・SPプロテクターは、防水層の硬化乾燥を確認後設置してください。設置には、ハイタックG(0.2kg/m)をご使用ください。
(SPプロテクターの設置には、防水層施工後、1日以上養生が必要です。)
- ・手塗りを行う場合は、コテを用いて均一に塗布してください。
- ・ピンホール・ジャンカ等(がある場合は、フクレの原因となりますので、必ず下地処理(別途工事)を行ってください。
- ・やむを得ず2回に分けて施工する場合、当日中はノンプライマーで塗り重ねが施工可能ですが、翌日以降の時は層間プライマーを塗布してください。プライマーの選定はお問い合わせください。
- ・Y-1適合工法の場合は、保護層(SPプロテクター)が必要となります。



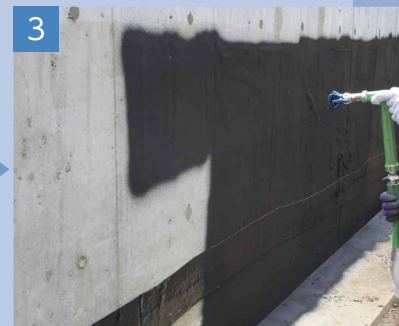
プライマー塗布

ハルレプライマーを塗布する。
※P. 8 適用プライマー表参照



材料の攪拌

スプレイジョンSAを攪拌しながらスプレイ
ジョンSBを添加し、約10秒間均一に攪拌。
その後攪拌しながらスプレイジョンSZを
添加し、約40秒間攪拌混合する。



スプレイジョンS吹付け

スプレイジョンSを均一に吹付ける。



スプレイジョンS吹付け完了



SPプロテクター敷設

躯体にハイト tack Gをローラーで塗布して乾燥させる。
ハイト tack G乾燥後、SPプロテクターを敷設する。
SPプロテクターは、突き付けで張り付け、端部はガムテープで養生する。

● 下地の確認

1. 下地の形状 下地の出隅・入隅部の形状については公共建築工事標準仕様書を参考にする。
入隅：スラブの入隅及び入隅線は通り良く直角であること。
出隅：スラブの出隅及び出隅線は通り良く45°の面がとってあること。
2. 平滑性 下地の突起異物は、サンダー等で除去する。また不陸部や水溜り箇所には樹脂モルタルにて平滑に仕上げてあること。
3. 浮き 下地に浮きのある場合はその箇所をはつり、強固な下地面を出し、樹脂モルタルにて平滑に仕上げてあること。
4. 清掃 表面のホコリやレイトンスなどの汚れ及び防水層の接着を阻害するような不純物(砂・油脂分・型枠脱型用離型剤等)がある場合は除去してあること。
5. 下地補修
 - ①木コン部は、樹脂モルタルで充填してあること。
 - ②レイトンス・表面が脆弱な場合はサンダー・ケレン棒・金ブラシ等で除去し、強固な下地面を出し、樹脂モルタルにて処理してあること。
 - ③豆板・ジャンカなどは樹脂モルタルにてシゴキ塗りしてあること。

製品一覧

主材料

			
	スプレイジョンSA	スプレイジョンSB	スプレイジョンSZ
一般性状	ゴムアスファルト系エマルジョン 固形分：82% 粘度：950mPa・s P H：10.5 比重：1.0 外観：黒褐色液体	ポリイソシアネート系化合物 比重：夏用1.1、春秋用1.0、冬用1.1 外観：透明液体	ポリカルボン酸ソーダ 固形分：42% P H：10.0 比重：1.3 外観：茶色液体
荷姿	16kg／缶	0.3kg×4缶／箱	12kg／樹脂容器
用途	スプレイジョンS主剤	スプレイジョンS用硬化剤	スプレイジョンS用増粘剤

配合

スプレイジョンSAを攪拌しながらスプレイジョンSBを添加し、約10秒間均一に攪拌。その後攪拌しながらスプレイジョンSZを添加し、約40秒間攪拌混合する。

標準配合

気温(液温)		5℃	23℃	35℃
硬化剤種		冬用タイプ	春・秋用タイプ	夏用タイプ
SPS-20	1缶に対する	250g(192cc)	300g(231cc)	475g(365cc)
SPS-40	増粘剤量	450g(346cc)	500g(385cc)	750g(577cc)

*増粘剤添加量：スプレイジョンSA／スプレイジョンSB(各種硬化剤) 1セット(16kg：0.3kg)に対する添加量の目安です。

*手塗り配合：増粘剤量は上記表を参照ください。作業性改善のため、増減は可能です。

配合時の注意事項

- ・材料の攪拌には必ず高速攪拌機(1300rpm リシン羽根)をご使用ください。必要以上の攪拌混合は材料が不安定になり塗布作業に支障をきたす恐れがあります。
- ・材料を小分けして使用する場合は必ず計量して使用してください。



可使時間・硬化時間

硬化剤	春・秋用タイプ			夏用タイプ			冬用タイプ			備考
液温	5℃	23℃	35℃	5℃	23℃	35℃	5℃	23℃	35℃	
可使時間	360分	45分	25分	—	90分	45分	120分	30分	—	塗布可能時間
硬化時間	36時間	12時間	8時間	—	30時間	12時間	18時間	8時間	—	塗布量5.2kg/m ² の硬化

※上記表の可使時間・硬化時間は、標準配合(SPS-40)での目安時間です。増粘剤が多くなると、上記時間より可使時間が短くなります。

※硬化時間は次工程に移る目安時間です。防水性能を発揮する時間ではありません。

※スプレイジョンSB夏用は、液温が20℃以下になると、硬化不良を起す可能性がありますので、夏季以外での使用はお止めください。

プライマー

					
	ハルプライマー	ハル水性プライマー	特殊プライマーST	AEコートSG	AEコートSB
一般性状	アクリルエマルジョン系 固形分：45% P H：4.5 外 観：乳白色液体	アクリルエマルジョン系	合成ゴム系(溶剤系)	特殊アクリルエマルジョン	骨材入り特殊セメント
荷姿	18kg/缶	5kg/缶	3kg/缶	18kg/缶	24kg/袋
用途	コンクリート下地に適合	コンクリート及び 特殊下地に適合	特殊下地に適合	保護材及び下地調整材	保護材及び下地調整材

副資材など

						
	ハイツックG	SPプロテクター	メンブロンクロス	SPベースシート	ジョイントテープ	絶縁クロス
主成分	アクリルエマルジョン 系接着剤 固形分：53.5% P H：6.9 外 観：乳白色液体	補強クロス付き ポリエチレン発泡体 t=6mm	合成繊維メッシュ	ポリオレフィンフィルム	片面粘着層付き ポリエステル不織布	フラットヤーンクロス
荷姿	17kg/缶	1m×25m/巻	1m×50m/巻 200mm50m×5巻/袋	1m×50m/巻	50mm×100m× 10巻/箱	1.32m×100m/巻
用途	SPプロテクター 貼付用接着剤	埋め戻し時の 保護緩衝マット	補強処理用クロス	導水用シート	SPベースシート用 ジョイントテープ	保護コンクリート、保護 モルタルとの縁切り

適用プライマー

適用下地	プライマーの種類	配合	使用量
コンクリート、モルタル	ハルプライマー(5倍希釈液)	ハルプライマー原液：水=18：72(1：4)	0.2kg/m ²
	ハル水性プライマー(5倍希釈液)	ハル水性プライマー原液：水=5：20(1：4)	0.2kg/m ²
鉄、塩ビ、ステンレス、アルミ、 アスファルトコンパウンド、 同材塗り継ぎ	ハル水性プライマー(原液)	—	0.1kg/m ²
	特殊プライマーST(原液)	—	0.1kg/m ²
コンクリート(フクレ抑制用)	AEコートフクレ抑制配合	AEコートSG：AEコートSB=18：18	1.0kg/m ²

- ・乾燥時間の目安であり、温湿度条件は23℃.50%RH。低温や高温状態では上記時間内で乾燥しない場合もあるため送風機等で乾燥促進願います。
- ・プライマーが乾燥してから次工程を行うことが出来る時間。
- ・その他の下地については、メーカーへご相談ください。
- ・その他適用下地例であっても、別途下地処理が必要な場合があります。
- ・鉄・ステンレス・アルミ・塩ビ管等はプライマー塗布前に目粗しをしてください。
- ・ステンレスの場合は、目粗し後、迅速にプライマーを塗布してください。
- ・鋳造SUS(SCS)下地に関しては、特殊プライマーSTを0.1kg/mi×2回塗布してください。(ハル水性プライマーを使用する場合は、0.1kg/mi×1回塗布してください。)
- ・AEコートフクレ抑制の施工時は事前にハル水性プライマー5倍希釈液を塗布してください。

塗膜性能

JIS評価試験

試験項目（JIS A6021 ²⁰²² ）			スプレイジョンS	JISA6021-2022
				規格値
引張性能	試験温度／23℃	引張強さ（N／mm ² ）	0.29	0.25以上
	試験温度／23℃	破断時の伸び率（%）	1900以上	600以上
引裂性能	引裂強さ（N／mm）		3.0	2.0以上
温度依存性	試験温度／ -20℃	引張強さ（N／mm ² ）	2.6	0.25以上
	試験温度／23℃	破断時のつかみ間の 伸び率（%）	1000以上	360以上
	試験温度／ -20℃		90以上	70以上
	試験温度／60℃		400以上	360以上
劣化処理後の性能	加熱処理	引張強さ比（%）	121	80以上
	アルカリ処理		93	80以上
	加熱処理	破断時の伸び率（%）	1900以上	480以上
	アルカリ処理		1900以上	480以上
加熱伸縮性能	伸縮率（%）		0.1	-4.0以上1.0以下
伸び時の劣化性状	加熱処理		異常なし	ひび割れ、変形がないこと

※伸び率は測定限界値以上を示す。

塗膜の感温性

試験項目	試験結果	試験方法
高温ダレ試験	80℃=0、100℃=1mm	JIS K2207
低温折曲げ試験	-20℃で異常なし	φ10mm棒で折曲げ、亀裂の有無を確認

塗膜の透水性

水圧条件	試験結果		試験方法
	2.1mm	4.2mm	
水圧294kPa×1時間	透水量0g	透水量0g	JIS A1404

下地亀裂抵抗性

防水層の厚み (mm)	試験結果	試験方法
	最大亀裂幅 (mm)	
2.1mm	25.0	引張速度 5mm/min
4.2mm	35.0	

接着試験

	試験結果 (N/mm ²)	破断状態
コンクリートとの接着性	0.38	スプレイジョンSの材料破壊
後打ちコンクリートとの接着性	0.34	

※単軸引張速度 2mm/min

※打設後に期間が空く場合、事前にAEコートを塗布するか、防水層が暴露されないようにブルーシート等で養生して下さい。

保管・運搬上の注意点

注意

1. スプレイジョンS防水工法に使用する主剤及び副資材は重量物ですので、荷扱いには十分注意してください。落下や乱暴な取り扱いは、缶・シートの傷つきだけでなく、傷害や器物破損などの事故を招く場合があります。
2. スプレイジョンSB春秋用及び冬用は危険物第四類第三石油類、スプレイジョンSB夏用は危険物第四類第四石油類、特殊プライマーSTは第四類第一石油類に該当します。保管にあたっては消防法の指定数量（第四類第四石油類：6000L、第四類第三石油類：2000L、第四類第一石油類：200L）が規定されておりますが、各市町村により条例が異なりますのでご確認ください。

保管上のお願

1. スプレイジョンSA・スプレイジョンSZ・ハイトックG等の水系材料は凍結させないよう注意し、5～40℃で直射日光の当たらない室内に保管してください。開缶後の使用残は密封した状態で保管してください。施工現場でやむを得ず野積みする場合には、底に合板などを敷き、必ずシートを掛けてください。
2. SPプロテクター・SPベースシート・メンブロンクロス・AEコートSBIは、雨、水に濡れない室内に保管してください。やむを得ず屋外に保管する場合は、下からの吸水・吸湿を防止するため合板などを敷き、防水シート等で完全に覆って、雨に濡れないように注意してください。
3. SPプロテクター・SPベースシート・メンブロンクロスは縦置きで保管してください。

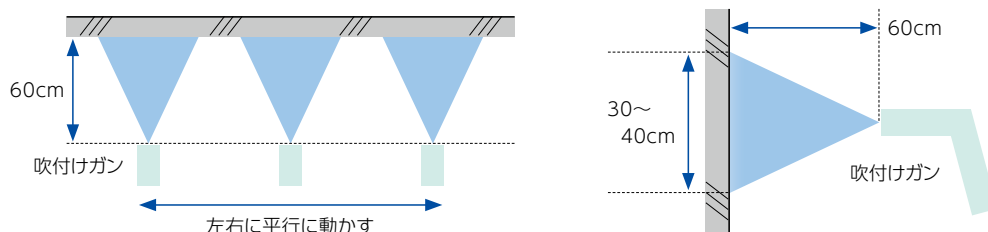
施工上の注意点

注意

1. 施工中及び施工後塗膜が硬化するまでは、他業者による汚損、事故の発生を防ぐ為に、工事関係者以外の立入りを禁止してください。立入り禁止の立て札を用意し、わかりやすい所に立ててください。
2. 使用済み缶類、残材シート等は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託してください。梱包紙・梱包ケースなどを焼却する場合は、都道府県条例に基づき焼却してください。
3. 高湿状態の箇所では、硬化・乾燥を良くする為、施工・養生期間中は送風機等を使用し除湿してください。

施工上の注意

1. 材料は使用前に攪拌してください。
2. ポンプでの吹き付けの場合、ガン先は吹き付け面に対し平行に動かしてください。また、ガン先は吹き付け面より、60cm程度離れた位置から吹き付けてください。



3. 下地が湿っている時及び強風時には施工はしないで下さい。また、施工は5℃以上で行ってください。施工完了後、凍結しないように養生してください。また、硬化・乾燥まで降雪ににあわないようにしてください。
4. 施工前にカタログ・施工要領書を必ずご一読ください。缶、梱包ケース、袋に記載されている品名・色名・ロット・数量・使用方法・注意書き・最新のSDS等をご確認の上、施工を開始してください。
5. 気象の条件
 - ①硬化剤の選定

スプレイジョンSは、施工時の気温・スプレイジョンSB(硬化剤)の種類により、施工可能時間が変わります。よりスムーズな施工を行う為に気温に合った硬化剤を選定し使用してください。

混合後の可使時間は、環境・温度条件によってこととなりますが、約45分が目安です。施工環境に適した硬化剤を選定し攪拌混合してください。

【使用目安表】

硬化剤の種類	液 温	備 考
スプレイジョンSB 春秋用	3月～6月、9月～11月 液温 15～25℃	春秋用タイプ
スプレイジョンSB 夏用	6月～10月 液温 25℃以上の場合	※夏用タイプ
スプレイジョンSB 冬用	11月～3月 液温 15℃以下の場合	冬用タイプ

上記表は、あくまでも施工をスムーズに行う為の目安表であり、上記表がすべてではありません。

※スプレイジョンSB夏用は、液温が20℃以下になると、硬化不良を起こす可能性がありますのでご注意ください。

②施工の中止

降雨・降雪時もしくは降雨・降雪が予想される場合は施工はさけてください。

気温が著しく低く、施工に支障を生ずることが予想される場合には、施工はさけてください。

強風・高温・高湿の時は、関係者と協議の上、施工の可否を決定してください。



株式会社 **イーテック**



本パンフレットに記載されている情報およびデータは信頼し得る試験法に基づいて測定したものです。実際に使用する前に十分な試験を行い、ご満足できる効果をご確認ください。
なお、ご紹介の用途は、いかなる特許に対しても抵触しないことを保証するものではありません。
材料・仕様は予告なく変更する場合がございます。

本社・四日市工場（工場、研究所）

〒510-0875 三重県四日市市大治田1-6-16

東日本防水材料グループ

〒105-0021 東京都港区東新橋1-9-2 汐留住友ビル

お問い合わせ TEL.03-6218-3842

西日本防水材料グループ

〒541-0046 大阪府大阪市中央区平野町2-5-8 平野町センチュリービル

お問い合わせ TEL.050-6868-4885